2013-2014 年度今治ロータリークラブ週報　No.44

第 ４４ 回 例 会 報 告（５月２９日）

【 出　席　報　告 】

・会員数　５４名　・出席数　３８名　・欠席数　１６名
・当日出席率　７５．５１％　・前々回修正出席率　８９．３６％
＜欠席会員＞原田、原、檜垣(俊)、檜垣(巧)、平田、桑森、岡田、竹田、田中
〔免除会員〕青野(明)、青野(賢)、飯、松本、光藤、宮本、白石
<5/11 欠席補填>(5/12 高雄)冠　(5/20 今治南)原、檜垣(賢)、檜垣(直)、檜垣(俊)、檜垣(巧)、川上、吉良、小堀、眞鍋
松木、村上(修)、村上(裕)、西本、岡本、越智、尾越、大澤、佐伯、藤堂、山本、矢野

◇会長報告・今治警察署様を訪問しました。

職場訪問例会　～今治警察署～

◆西本信保職業奉仕委員長:きょうは安全安心のまちづくりに日夜努力されている今治署を訪問させてもらった。以前、私の会社に泥棒が入り被害届を出す際、古い庁舎だったので取調室で調書を書かされた覚えがある。昨年、この新庁舎が完成したのでそんなことはなくなった。私は今治交通安全協会副会長の大役を仰せつかっており、１件でも交通死亡事故が減るよう皆さんにお願いする。

◆今治警察署　小山建次署長:年間300億円の予算を取り扱う県警本部会計課長からこの春、着任した。会計課長時代、当今治署の建設責任者だったので、「自分で建てておいてそこへ赴任するとはうまいことをする」と冗談を言われた。解体中の旧庁舎跡に車庫や署長・副署長官舎を建設して、秋に一連の工事が終了する。▼当署は松山東署に次ぐ県内2番目の規模で、警察官168人、一般職員18人がいる。旧庁舎に比べ機能強化を図っており、この部屋は重要事件が起きたとき捜査本部になる。隣に取調室が14あり、その向こうの刑事課とつながっている。廊下の反対側にも一回り小さな部屋がある。▼管内では昨年、殺人、強盗、放火などの凶悪事件が15件発生した。この数字は松山東署を上回る。しかし一般の刑法犯の数はそう多くない。突っ張る人、後ろに引かない人が多く、喧嘩のたぐいの粗暴犯が目立つ。留置室は旧庁舎の20から30に増やした。取調室も19まで増やした。収容能力はたっぷりある。▼玄関のひさしは船のへさき、壁面は菊間瓦、柱は今治タオルをイメージさせるソフトなデザインにしたが、気付いてくれる人はあまりいない。このほかにも授乳室、大腸手術をした人が使用しやすい多機能トイレなどを整備して、全国でも先進的な施設となっている。

◆今治警察署　渡部徹警務課長:管内のことを知ろうと、休日は妻といろんなところへ出かけている。その妻が今治出身と最近知った。親が転勤族だったからだが、今治には親戚もいた。きょうは今治のまちがよく見える庁舎屋上をはじめ、署員以外も使用している柔剣道場、取調室、泥酔者を保護する通称トラ箱などを見学してください。

＜ゲスト＞　今治警察署長　小山建次様、警務課長　渡部徹様

次 回 例 会（６月５日）

【 小さな奉仕賞表彰式 】

＜会員誕生日祝＞　矢野　暢生氏（6/5）　佐伯　和信氏（6/13）
＜配偶者誕生祝＞　松本　篤氏（6/8）　吉良　敏彦氏（6/16）
＜結婚記念日祝＞　渡辺　昜廣氏（6/10）
＜入会記念日祝＞　島田雄二郎氏（6/9）

〔 健寿司 〕